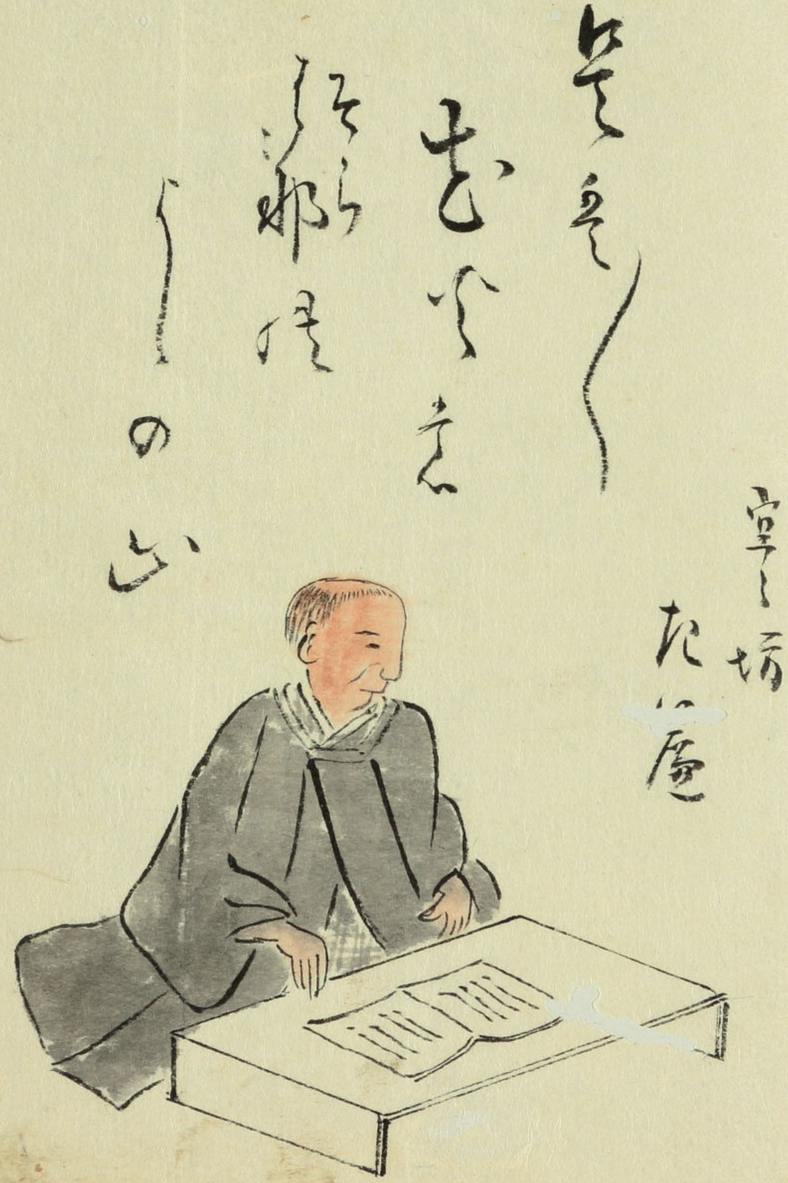
懐中可香美

編集

卷中庄順次第不同甲乙無

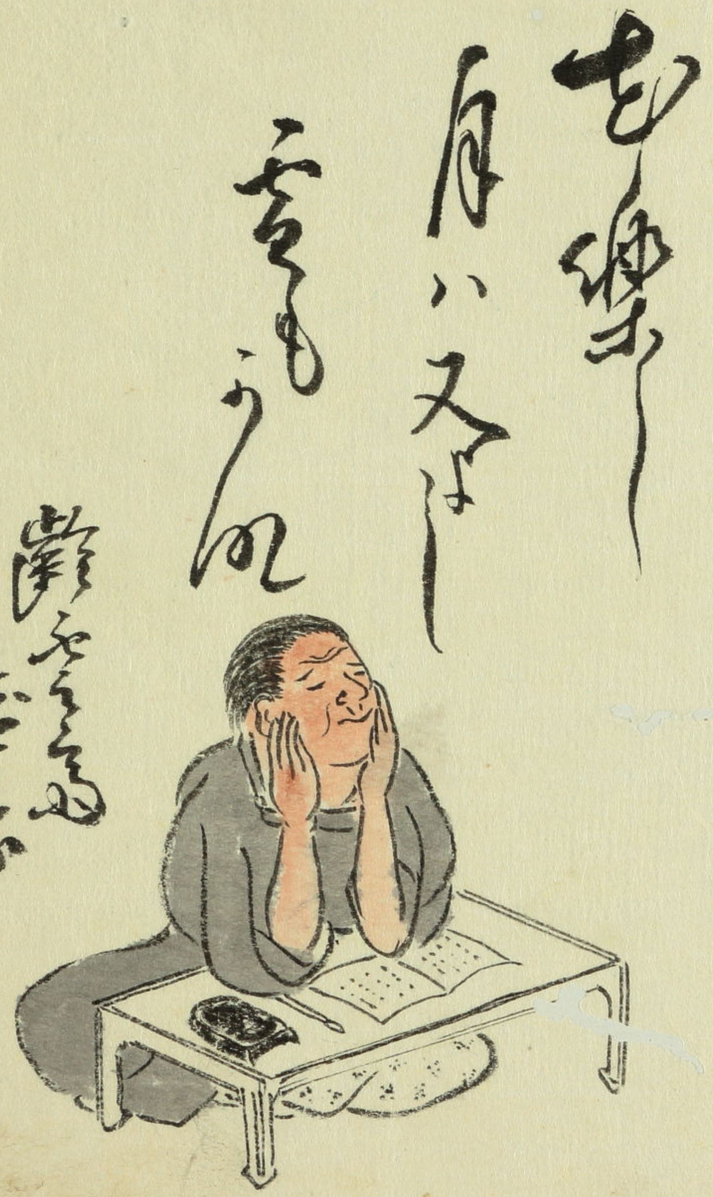


談林堂

龍斗齋
尤麗

宿所
芝辺毎天町十六番地

俗姓
中村鈍



談林坐

齡雲齋月熟

宿所 浅草三間町三拾番地

俗姓 宍戸田道徳

柳滝庵 立連

談林坐

好酒不道其
句し取てし
附升進句是
遺勧し集
有手梅隣

梅隣菴
五璉

宿所
湯嶋天神町九番地

俗姓
木村傳左衛門

羽目くまさせる源坊の耳
ないいはらの声色もうらう上手
母のうしろすほ姫のゆかき足
ちうきやまき此の虫の道をさら
きくれせんくるもと久る経
気のつかねうら源の流描ろう
継よう縫姫の新らりる戯る
生砕の身くと川も更砕
風葉るとは光る〻さゞう
横うは酒香え露へ出れ
風の句まつへは停る余斗
荒くとるれみ春やうも我余う

静さや筆の雫に音不蝶の立

寅歳旦口号

新迎八十五年春
此際消光夢是真
各到老區聾耳避
勿嘲我似木偶人

夏曉

談林坐

抱翠園 夏曉

居所 銀座四丁目新道十三番地

俗姓 中原松堂

談林坐

古常菴
月窓

宿所
月黒今里村

俗姓
土岐月堂

談林坐

抑不了好[illegible]
句ハ附去く
通れ又ハ嘉く
余情を含めし
詞ら前句ら
寿蔵ハ言の
意を見遣へ
又体をよろ
ありしミ附と
也て首句
中よ句意の
抛ひ立られ
可のさしさ
を一入感賞
を

日米齋 佳風

宿所 浅草西三筋町廿七番地

俗姓 山本莭蔵

前句

梅を見ふして生垂子 劇
山里ハ雲のかゝる梅の花
めりくと吉野の裂る事
梅も仰ける苗代の糸
其よりや遠くの開りくる
一ふく吸ふく後の嵐風
龍絲の庭梅子節鶯の声
芽吉のかく来て行くる
遂て二人の論ちぬ害
蟄死の怪まり揃子も命付
おふりても都ての夢の子
来りても訪ふる行了川の水

佳善也
鶯の梅や
曲りんと
おもて堺
枝ま首

鉄二兌画

談林堂
菊立里側贈巻

三句の信ハ云通ても句に
きく一句わかち
ききたるよし
又将棋打
芝居絵馬
おの句まこと点
なり
これ未ださもなる句
ん連してしと
して一句の
上手なりける
ぬとにとます

加賀 菴
鬘々

宿所 四ツ谷元鮫河橋町七十二番地

俗姓 朝倉粂治郎

名人の墓に花のちる満る
横根の笑ひ静かに寝て居るのか
大道の秋のいろの形ありし
水の帰る日ニ四月と成りぬる
山も岩われ峰の猪しき
青松のむらむら流れて出れ川
山ある道へ流るる 笑
中ちる花 谷の桜
豆の一日酒をと 御月
五月の半ば銭酌の 甚
純らわら浮きし 夏の
鎮鉄石に山 小枝

ちりてハ花を
見れ
盛り咲けり

秋雲
岩谷

談林坐

彩雲齋
岩谷

宿所
牛込肴町二十八番地

俗姓
鈴木重直

談林坐

春秋庵花縣

宿所 池端七軒町二十二番地

俗姓 大久保教興

朽木不可雕

七世 遠雲高

社来

談林坐

三句の流行ハ云迄も句
劉為変化
何も好嫌ハ無
之も茶句ハ
の様なる俳
金言之合ハ
る俳なるべし
世俗買色
無変化之遊
等風韻なる
はなれ方之
事なり

遥雲齋
社乗

宿 巣鴨駕籠町
所 三拾四番地

俗姓 安中知堂

月ごとの 印茶 講釈
押す煩ひやりと流る数の命
忘れまじくこと引きる 拔
ごとの呑と 姑ハ別る人
今宵更ふる 長ーやさん
清今て 居る 瘧りの 枕もと
絶て ふさけぬ 借金の 宛
浮て 流るる ちょうか 百ヶ日
毋の 巻を 山茶花の 只 凋て
ごとふして 袖口の 古来
弾ぶて ちがふ とけら 焼
ちゃせ 事ぬ 乱て 中ま 寝る

談林坐

芦迴屋月丸

宿所 溜池霊南町五番地

俗姓 井上是春

[illegible]

夜はたらや

ゆめ

本を尾

湖十

青柳沢氏

新九郎

深川坐

附三句の掟ハ
せし及ての係
こゝろ浄行
前も辞しの
なし 利して
もの
好むものを
始の句
刀鍛 前附
屋のあるゝ
気色平常
ましとして
称へてよし

木者菴
世 湖十

宿所
本所緑町四丁目十番地

俗姓
桐淵竹堂

茶句

昨むしむかしすもれて気も書
辰ャ歯も元ゟてきゝ同前し
鬼界の田といふのへよしや
はいかいも今郭も色寡に注て
利はさゞ庭の如て 出 自
ただ此道に二足わらじて揉ほど
毒とおもひて 勿ん 治 招
新刊掲をさてこそこゝにあるゝ
亡き夫へ情たてゝ逝て幸くわ
気達さわるを打て 行く 志
我やあつて浮しい 田千 枚
榛名の雨を割わて地も 明

業平高尚老人
賀之助
ちかよる
隠す
牡丹
うの邪

菊童浜

秋英齋
菊童

宿所
上六番町三拾壹地

俗姓
落合兼翁

宍裕高

菊童側

三句の清音
一弦弱文
神歌底本
茅山本
工と浦さを
好めり
清の句
馬の句
雲々

松濤菴魚淵

宿所 六番町三十番地

俗姓 落合道義

二世 拾[illegible]の[illegible]
[illegible]の変句 樊[illegible]
中[illegible]
茅[illegible]
流[illegible]
東風の[illegible]
波[illegible]
峠[illegible]
心[illegible]
特[illegible]
[illegible]

菊童側
宗因堂
冬映側　贈春

[illegible]

蝶巣庵
季子堂蹉跎二

宿所
麻布市兵衛町一丁目七番地

俗姓
香川一樹

[illegible]

六造汎

仁寶菴

九歡

宿所
裏神保町壹番地

俗姓
山岩田九翁

夏涼しく
物好の
夏の姿

昭58.8.12 大屋 3800～

獨立

宗因堅
菊童側贈答

春草菴里従

宿巣鴨四町目
所百四拾六番地

俗姓 田澤路有

所詮了一
夢ふかめ
氏俗立俗
ゆくとも
ゆくとも

花の
百姓
田を
たり
生ものてらきれて
坊
まの

花の一字のうちに　女氣
ありけるなる　沒句　筆の世
廣くこれをもつ
八文字
の雅古博　遠い　風俗
花共色も又印の外の結構
掛け　劉　三蓋　腰の物今
生ものてらきれて　ものの業
蓋中を　拙しかるべき
人形を　拙く
なるべきもの　後　建
まの乳吞　ゆるされる